PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2025 年 10 月 23 日

JICA 研修員が大阪で防災の最前線を視察！

～日本初のアーチ型防潮水門「安治川水門」に学ぶ～

JICA 関西では、（一財）近畿建設協会のご協力を得て、「インフラ施設（河川・道路・港湾）災害対策とマネジメント」研修を 9 月 12 日から 11 月 28 日まで実施中です。本研修では、開発途上国 10 か国（マレーシア、東ティモール、パキスタン、ヨルダン、トルコ、南アフリカ共和国、モーリシャス、コンゴ民主共和国、南スーダン、ナイジェリア）から、母国のインフラ施設の災害対策に携わるエンジニア 10 名が来日し、関西地域の事例も視察しながら災害対策技術を学びます。

10 月 27 日、10 名のエンジニアは大阪府の安治川水門を訪れ、高潮に対する事前防災対策の現場を視察します。研修員の出身国の中には、災害が起こる前に対策をするという「事前防災」の考え方が浸透していない国も多いため、その重要性について学んでもらうことが今回の視察の目的です。学んだ技術や考え方をそれぞれの国に応用するために、各国の状況を踏まえた様々な質問や意見交換がなされる場面が見所の 1 つです。

以下の日程で取材や研修員へのインタビューが可能ですのでぜひご検討ください。
※当日は日本語⇔英語通訳が同行いたします。

取材可能日程

10/27（月） 13:30-14:15	視察「安治川水門」 安治川水門は日本初のアーチ型防潮水門であり、大阪の都市機能と市民の安全を守る重要なインフラです。当日は水門が開閉する様子を視察できる可能性もあります。 場所：安治川水門管理棟(大阪市港区弁天 6-3-13)

-ご取材いただける場合は事前にご連絡下さい-

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 研修業務課
TEL 078-261-0383